

2. 入院の流れ

1) 連絡先

①妊娠 36 週以降の方

平日の日中	8:30~17:15	0234-26-2001 (外来)
平日の日中以外の時間	17:15~翌 8:30	※外来で説明された電話番号
土日・祝日	8:30~翌 8:30	

※注意事項※

- 必ずご自身で連絡し、お話ししてください。
- 平日の日中は外来を受診後に入院になります。
- 平日の日中以外の時間・土日・祝日に来院するときは、救急外来出入り口から入ります。

②病院へ連絡するときに話すこと

1	出産予定日	
2	お名前	
3	何回目のお産か	例) はじめてのお産、○回目のお産
4	陣痛について	例) ○時から○間隔で今は○分間隔。休みなく痛みが続いている
5	出血について	いつ: 何時頃から、健診後から 色: 赤色、茶色、ピンク色 量: 昼用ナプキン全面くらい、500 円玉くらい、おりものに混じるくらい、血の塊が出た など
6	破水について	いつ: 何時に 色: 透明、黄色、緑、赤色、ピンク色 量: 昼用ナプキン全面くらい、おりものシートにおさまるくらい
7	胎動の有無	例) いつものようにある、○時から感じていない
8	医師や助産師から注意するようにと 言われていること	例) 前回のお産が早かった、病院まで距離が遠い、逆子、帝王切開の予定、血圧が高い、感染症がある など
9	病院までの所要時間	例) ○分後くらい、○時○分には到着できます など



2) 来院時、入院時にすること

- ① 来院する前に電話で状況を伝えてから受診しましょう。
- ② 車の運転は、必ず家族の方にしてもらいましょう。
- ③ 入院時は、入院の荷物を家族の方に持ってもらいながら来ましょう。

平日の日中の場合	平日の日中以外の時間・土日・祝日
<p>1. 病院の正面入り口から入り、受付をします。</p>  <p>2. 産婦人科外来で受け付けをします。</p> <p>3. 診察（内診）をします。 子宮口の開き具合や赤ちゃんの頭の下がり具合などを診ます。 ※破水の可能性がある場合はこのとき一緒に検査します。</p> <p>4. 陣痛と赤ちゃんの状態を見る機械をつけます。（分娩監視装置）</p> <p>5. 問診（陣痛の状況や破水の有無など）や内診、分娩監視装置の結果から入院を決めます。 ※入院にならない場合は、一旦帰宅することもあります。</p> <p>6. 入院が決定した場合、病棟へ移動します。</p>	<p>1. 救急外来出入り口から家族と一緒に入ります（荷物を全て持ってくる）。警備員に名前を伝える。 ※歩いて病棟まで来るのが難しい場合は連絡しましょう。</p>  <p>2. 病棟の受付でスタッフに声をかける ※家族は、一旦デイルームで待つて頂きます（20～30分程）。</p> <p>3. 診察（内診）をします。 子宮口の開き具合や赤ちゃんの頭の下がり具合などを診ます。 ※破水の可能性がある場合はこのとき一緒に検査します。</p> <p>4. 陣痛と赤ちゃんの状態を見る機械をつけます。（分娩監視装置）</p> <p>5. 問診（陣痛の状況や破水の有無など）や内診、分娩監視装置の結果から入院を決めます。 ※入院にならない場合は、一旦帰宅することもあります。</p> <p>6. 入院が決定します。</p>
<p><入院時提出するもの></p> <p>○診察券 ○母子健康手帳 ○入院誓約書 ○赤ちゃんの診察申込書 ○テレビ・病衣申込書 ○誘発同意書 ○診療行為同意書</p>	
<p>7. お産の進行具合を踏まえて、過ごすお部屋を決めます。 （部屋、陣痛室、分娩室）</p>	